

テーマ

伝えたい！地域の誇り

事業実施地区（中学校区名）	大庭・竹矢（松江市立湖東中学校）
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	大庭公民館・竹矢公民館

テーマの背景

大庭、竹矢地区は古代出雲文化発祥の地として、地区内には数多くの古墳群をはじめ、出雲国中心としての国庁跡や、国分寺跡等が点在している。また、由緒ある神社仏閣も多く古代ロマンあふれる地域である。

そんな中、先人の培った歴史や文化を引き継ぎ、古代出雲の国府(中心地)としての誇りを次世代を担う子どもたちに伝える必要性がある。

この度の公民館ふるさと教育は、私たちの地域の「いい所」を再発見するとともに、古くからの伝承文化を後世につなげる取り組みとする。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：イン・リーダー養成研修会

<取組の概要>

研修日程

	14:00	16:30	19:30	21:00	22:00	6:30	7:40	9:00	11:30	12:00
 8/23	開所式	「はめまして」 レクリエーション ゲームの効用	夕食準備 夕食・片付け	入浴	G・W・T あなたの 役割は？ グループワーク トレーニング	就寝準備	8/24			
						起床	朝のつどい	朝食	演習 ふるさと再発見 リョクラーとは ・コース設定 ・チェックポイント	ふりかえり 退所式

《目的》

地域への愛着とリーダーとしての自覚をたかめ、地域活動へ参加するため必要な基礎知識や技術の習得を目指すとともに、仲間意識を育て自立的な行動ができるリーダーを育成する。

《内容》

1. レクリエーションゲームの効用 (アイスブレイク)
(ねらい)小中一貫教育の取り組みの一つでもある小小連携を狙い、レクリエーションゲームを通して、出会いの喜びや、仲間づくりの高揚を図る
2. グループワークトレーニング
(ねらい)メンバーの一員として、人との関わり方を学び、グループの課題達成に必要なリーダーシップを学ぶ。
3. ウォークラリー
(ねらい)ウォークラリーのコマ図の見方、チェックポイント、ルール、歩き方を学ぶとともに、コース設定のやり方について考える。

1. 成果

- (1) ゲーム感覚で学習を進めることにより、参加者相互のコミュニケーション能力が高まり、課題解決に向けての協調性が養われた。
- (2) ふるさと教育の狙いでもある「地域を知り誇りに思う」学習が、ゲームを通して培われた。
- (3) 小小連携事業により中一ギャップ解消につながった。

2. 課題

- (1) 子どもたちの放課後や、休日の過ごし方が多様化しており、開催時期や時間帯に工夫が必要である。
- (2) 日常の中でふるさと教育を推進していく上で、子どもたちに地域行事の呼びかけを行い、説教的な参加促進を図ることが必要である。
- (3) 地域活動を促進するうえで、中、高生(ジュニア)リーダーの育成が必要である。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

- (1) コース設定の中で地域の自慢できるもの探しを行い、チェックポイントに設定する。
(ふるさと再発見)
- (2) チェックポイントでの問題を考える。
(ふるさとマップの活用)
・ 地域自慢の故事来歴の調査と学習

今後の展望

今回の事業を通して、地域リーダー養成の必要性を強く感じた。今回は、小学生を対象としたリーダー研修であったが、今後、中高生(ジュニア)リーダーの育成の足掛かりとなったことは、大きな成果があったと思う。
自分の住んでいる地域を誇りに思い、自慢できる人材育成こそがこれからの“こころのふるさと”、づくりに繋がると考えている。